

令和5年度 体験活動普及啓発事業
とかしきサンゴ学習 開催要項



1 趣 旨

渡嘉敷島を含む慶良間諸島は、平成26年3月5日に31番目の国立公園として指定された。透明度の高い海域景観、多様なサンゴが高密度に生息するサンゴ礁、ザトウクジラの繁殖海域、多島海景観、白い砂浜、海食崖とそこに発達した風衝地特有の植生など、海と陸が連続した多様な景観を有し、公園区域の大半が海域となっている。

この自然豊かな渡嘉敷島で生活する子ども達は、都会で暮らす子ども達と比較するとより身近に海がある環境にあるが、日頃海に行く機会が少ない子どもも見られる。保護者の職業などの家庭環境により大きな体験差が生まれている。また、サンゴが身近にありふれすぎていることから、サンゴが自然界に与える影響について深く考えたり、サンゴの保護やその課題についてあまり深く考えない現状も見ることができる。この自然豊かな島で暮らす子ども達が、身近にあるサンゴについての知識を知り、その知識を直接海で観察し、専門家から自分が知らない新しい知識を得ることにより、サンゴをはじめ身の回りの素晴らしい環境について改めて考える機会としたい。そうすることで、周囲の恵まれた

自然環境に気がつき、環境保護や島を愛する心を育むことにつながることをねらい、この事業を実施する。

2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立沖縄青少年交流の家

3 実施日 令和5年10月16日(月)13:45～15:35、17日(火)13:00～15:30、19日(木)13:45～15:35

4 対 象 渡嘉敷中学校 1年生 13名

5 日 程・活動場所

10月16日(月) 講義やゲームを通して、身近な存在であるサンゴについての基礎知識を学ぶ。(渡嘉敷中学校)

10月17日(火) 前日に学んだ現象が確認できるポイントを実際に観察する。(海洋研修場及びその周辺)

10月19日(木) 観察した内容を写真等で振り返り、確認を行い、渡嘉敷のサンゴの現状から自分達ができることを考える。

(渡嘉敷中学校)

6 講 師 小渕 正美 氏 (国立沖縄青少年交流の家)
鈴木 英範 氏 (国立沖縄青少年交流の家)
與那嶺 悟 氏 (スノーケリングインストラクター) (案)

※ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット（ソーシャルメディアサービスを含む）等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物やインターネット（以下、「印刷物等」）に記事・写真を掲載することもあります。

なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人（又は保護者）から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。

ただし、機構発行の印刷物並びに機構以外の者が発行・運営する印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。



T E L : 098-987-2306
F A X : 098-987-2318
H P : <http://okinawa.niye.go.jp>
e-mail : okinawa@niye.go.jp
担 当 : 村島 雄太(むらしま ゆうた)

